

●株主メモ

事業年度	4月1日から翌年の3月31日まで
定時株主総会	毎年6月に開催
株主確定日	①定時株主総会 毎年3月31日 ②期末配当金 毎年3月31日 ③中間配当金 毎年9月30日 なお、その他必要があるときはあらかじめ公告する一定の日を株主確定日といたします。
公告方法	電子公告により当社ホームページ (http://www.shiroki.co.jp) に掲載いたします。 (なお、事故その他のやむを得ない事由により、電子公告によることが出来ない場合は、日本経済新聞に公告いたします。)
株主名簿管理人 同事務取扱場所	三菱UFJ信託銀行株式会社 〒100-8212 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 フリーダイヤル：0120-232-711
(郵便物送付先) (お問い合わせ先)	同上
同取次所	三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店 ※株式関係のお手続き用紙のご請求は、次の三菱UFJ信託銀行のフリーダイヤル（自動応答）ならびにインターネットにより24時間承っております。 フリーダイヤル：0120-244-479 アドレス http://www.tr.mufg.jp/daikou/
上場取引所	東京証券取引所（市場第1部） 名古屋証券取引所（市場第1部）
証券コード	7243
単元株式数	1,000株

第91期

中間報告書

平成19年4月1日から
平成19年9月30日まで



当社の企業情報はホームページでもご提供しております。



アドレス：<http://www.shiroki.co.jp>

[主要なコンテンツ]

- IR情報
- 会社案内
- 製品紹介
- ニュースリリース



シロキ工業株式会社



Top Message

株主の皆様へ

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

当社グループの第91期上半期（平成19年4月1日から平成19年9月30日まで）の営業を終了いたしましたので、その概要につきましてご報告申し上げます。

当中間連結会計期間における国内新車販売は各自動車メーカーの新型車投入や販売努力にもかかわらず、前年同期比8.1%減となり、27年ぶりの低水準に落ち込みました。一方国内生産は新潟県中越沖地震による減産の影響が一部にあったものの、ヨーロッパ、中近東向けなどを中心とした輸出にけん引され底堅く推移いたしました。また、海外では低燃費の日本車人気を背景とした旺盛な需要により、海外販売は引き続き好調を維持し、海外生産も現地生産進展により拡大いたしました。

こうした経営環境のなか、当社グループは、高機能・高品質・低コストに加え、海外対応のできる「世界No.1の魅力ある製品づくり」に取り組み、世界4極市場に対応したグローバル生産・供給体制の確立を加速いたしました。また、中長期的に予想される国内生産の減少に備え、生産現場では「モノづくり」改革による生産ラインの工程2分の1化に取り組みとともに、中京地区における生産体制の再編に着手するなど、生産の高効率化をはかったシャープでスリムな生産体制構築にも積極的に取り組んでまいりました。

【国内事業】

九州シロキ株式会社（北九州市）は、九州地区における得意先自動車メーカーの生産増に対応するため、第2工場を増築し、本年5月よりトヨタ自動車株式会社向けにウインドレギュレータの生産を開始いたしました。また、当社持分法適用関連会社である総合システムメーカーのコンピュータ・ハイテック株式会社（東京・台東区）の全株式を譲渡するなど、連結経営の効率化を進めてまいりました。

【海外事業】

北米におきましては、昨年末に工場を拡張したシロキ GA LLC（ジョージア州）では、新規に受注したドアサッシの生産準備に入るとともに、本年3月稼働を開始したシロキ GT LLC（テネシー州）では、ウインドレギュレータの本格生産を始めるなど、順調に日系自動車メーカーの生産増と新規受注に対応いたしました。また、北米3工場の立地を活かした受注活動の展開とともに、徹底した原価低減活動に取り組み、企業体質と事業基盤強化に注力いたしました。

中国におきましては、広州白木汽車零部件有限公司（広州市）が、敷地内に増設した第2工場が本年7月より稼働を開始し、現地日系自動車メーカーの生産増と新規受注に対応いたしました。また、人材と部品調達の現地化を積極的に進めるなど、中国・華南地区における生産体制と事業基盤の強化に努めてまいりました。

タイにおきましては、シロキタイランド株式会社（チョンブリ県）が、現地トヨタ自動車株式会社の国際戦略車「IMV」などの生産増に引き続き順調に対応するとともに、受注拡大に向けた大型プレス機を導入するなどの生産体制の整備・拡大に取り組んで

まいりました。

インドにおきましては、ウインドレギュレータの技術供与を行っている現地自動車部品メーカーのテクノインダストリーズ株式会社（ハリアナ州）に資本出資を行うなど、提携先との関係強化をはかってまいりました。

こうした結果、当中間連結会計期間の業績につきましては、得意先自動車メーカーの輸出好調に伴う底堅い国内生産とグローバルでの拡販活動および新製品開発などの効果により、日本、米国、アジアにおいて順調に売上を伸ばし、売上高は688億2千5百万円（前年同期比8.0%増）となりました。また、利益につきましては、徹底した合理化活動による収益改善と海外での利益増が大きく貢献し、営業利益は17億2千9百万円（前年同期比50.5%増）、経常利益は15億7千7百万円（前年同期比31.9%増）となり、中間純利益は12億1千4百万円（前年同期比61.0%増）となりました。

なお当期の中間配当につきましては、期初におきまして見送らせていただくことといたしておりましたが、当上半期の業績および通期業績予想を総合的に勘案した結果、1株につき2円とさせていただきますので、ご了承賜りますようお願い申し上げます。

今後の自動車業界の見通しにつきましては、今秋開催の東京モーターショーを機に、各社より相次いで投入される新型車や拡販活動により、国内市場の活性化が期待されますが、ガソリン高や経済的な消費者心理の不安などにより、本格的な市場回復には至らないものと思われれます。一方、海外市場は信用力の低い個人向け住宅融資（サブプライムローン）問題を発端にしたアメリカ経済の減速懸念や原油価格の動向など先行きの不安要因があるものの、日本車人気を背景とした海外需要は引き続き好調に推移するものと予想されます。

このような状況下、当社グループは、更なる成長を目指し、製品開発におきましては、電子技術部門の拡充などにより、電子部品に対応した高付加価値部品やシステム部品などの新製品開発を強化してまいります。また国内事業におきましては、「モノづくり」改革を加速するとともに、中京地区における生産体制の再編を進めてまいります。一方海外事業におきましては、人材や部品調達などの現地化を進め、グローバル体制の更なる充実をはかってまいります。当社グループといたしましては、グローバルサプライヤーとして総力をあげて世界競争に勝ち抜いてまいり所存でございます。

株主の皆様におかれましては、今後とも格別のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成19年12月



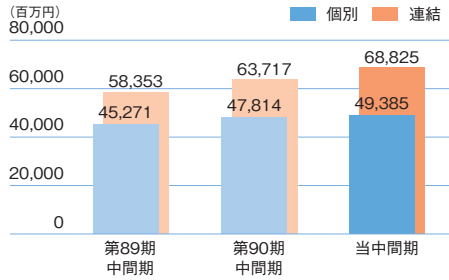
取締役社長

伊地知 齊一郎

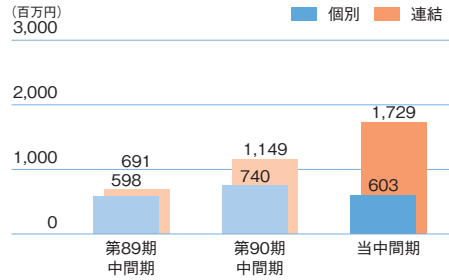


財務データ（中間期）

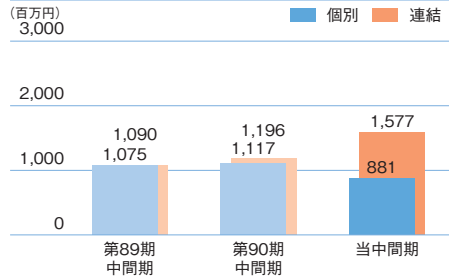
売上高の推移



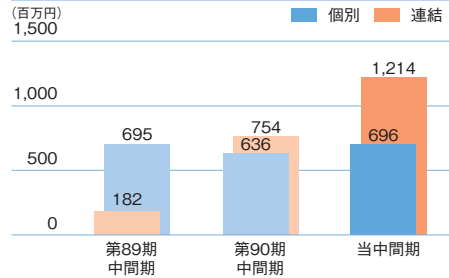
営業利益の推移



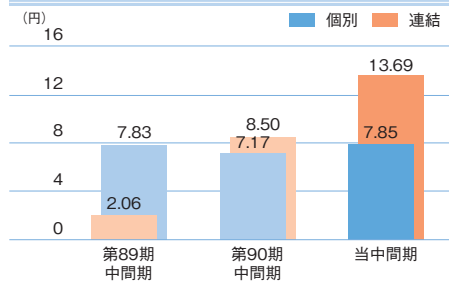
経常利益の推移



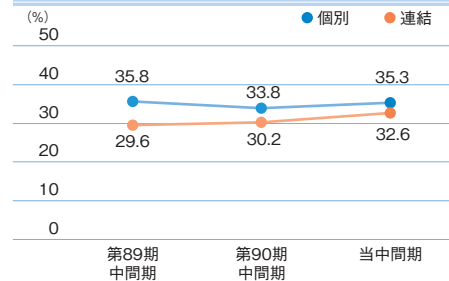
中間純利益の推移



1株当たり中間純利益の推移

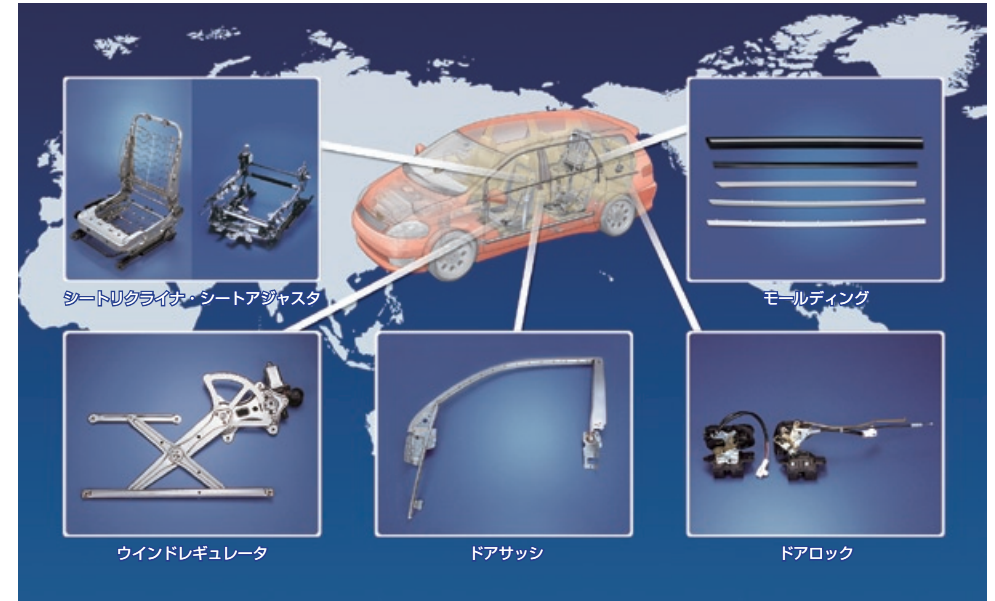


自己資本比率の推移

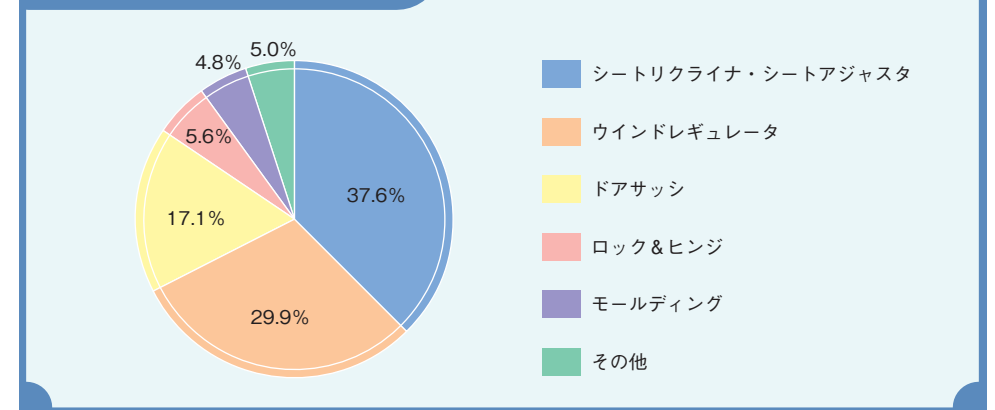


製品紹介

世界No.1の魅力ある製品づくり



製品別売上高比率（連結）





Consolidated Financial Statements

連結財務諸表

中間連結貸借対照表

(単位：百万円未満切り捨て)

科目	当中間期 (平成19年9月30日)	前 期 (平成19年3月31日)	科目	当中間期 (平成19年9月30日)	前 期 (平成19年3月31日)
(資産の部)			(負債の部)		
流動資産	39,250	38,168	流動負債	32,368	33,863
現金及び預金	5,700	6,428	支払手形及び買掛金	21,967	22,289
受取手形及び売掛金	25,737	24,670	短期借入金	2,322	3,308
たな卸資産	4,083	3,560	一年以内返済予定長期借入金	78	78
前払費用	181	159	賞与引当金	1,237	1,229
繰延税金資産	659	678	役員賞与引当金	32	61
未収入金	1,416	1,717	その他	6,730	6,896
その他	1,473	961	固定負債	25,284	25,493
貸倒引当金	△ 3	△ 7	長期借入金	17,919	17,920
固定資産	46,439	47,604	退職給付引当金	6,104	6,278
有形固定資産	38,085	38,921	その他	1,260	1,294
建物及び構築物	7,805	6,959	負債合計	57,653	59,356
機械装置及び運搬具	20,244	19,710	(純資産の部)		
工具器具及び備品	5,086	4,996	株主資本	26,557	25,704
土地	3,182	3,111	資本金	7,460	7,460
建設仮勘定	1,766	4,144	資本剰余金	9,699	9,699
無形固定資産	777	888	利益剰余金	9,468	8,609
投資その他の資産	7,576	7,795	自己株式	△ 70	△ 63
繰延税金資産	5,206	5,313	評価・換算差額等	1,378	642
その他	2,703	2,844	その他有価証券評価差額金	492	452
貸倒引当金	△ 333	△ 362	為替換算調整勘定	885	189
資産合計	85,689	85,773	少数株主持分	100	69
			純資産合計	28,036	26,416
			負債純資産合計	85,689	85,773

中間連結損益計算書

(単位：百万円未満切り捨て)

科目	当中間期 (平成19年4月1日から平成19年9月30日まで)	前 中 間 期 (平成18年4月1日から平成18年9月30日まで)
売上高	68,825	63,717
売上原価	61,265	57,008
売上総利益	7,560	6,708
販売費及び一般管理費	5,830	5,559
営業利益	1,729	1,149
営業外収益		
受取配当金	43	33
受取利息	10	9
口ヤリテ	35	41
固定資産売却益	73	138
固定資産売却損	-	64
固定資産の差	-	64
営業外費用	239	82
支払利息	240	193
為替差損	14	-
持分法による投資損失	69	36
借入手数料	-	61
その他	67	32
経常利益	391	323
特別利益	1,577	1,196
貸倒引当金戻入益	32	29
製品補償戻入益	61	-
工場立地助成金	-	6
前期損益修正益	-	38
その他	1	4
特別損失	95	78
固定資産売却損	11	74
固定資産除却損	215	68
その他	17	29
税金等調整前中間純利益	1,428	1,101
法人税、住民税及び事業税	102	330
法人税等調整額	91	19
少数株主利益(△は少数株主損失)	20	△ 2
中間純利益	1,214	754

中間連結株主資本等変動計算書(要旨)

(平成19年4月1日から平成19年9月30日まで) (単位：百万円未満切り捨て)

	株主資本				評価・換算差額等			少数株主持分	純資産合計	
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定			評価・換算差額等合計
平成19年3月31日残高	7,460	9,699	8,609	△ 63	25,704	452	189	642	69	26,416
中間連結会計期間中の変動額										
剰余金の配当			△ 355		△ 355					△ 355
中間純利益			1,214		1,214					1,214
自己株式の取得				△ 6	△ 6					△ 6
株主資本以外の項目の中間連結会計期間中の変動額(純額)						39	695	735	31	766
中間連結会計期間中の変動額合計	-	-	858	△ 6	852	39	695	735	31	1,619
平成19年9月30日残高	7,460	9,699	9,468	△ 70	26,557	492	885	1,378	100	28,036



Non-Consolidated Financial Statements

個別財務諸表

中間貸借対照表

(単位：百万円未満切り捨て)

科目	当中間期 (平成19年9月30日)	前 期 (平成19年3月31日)	科目	当中間期 (平成19年9月30日)	前 期 (平成19年3月31日)
(資産の部)			(負債の部)		
流動資産	31,224	31,368	流動負債	24,768	27,531
現金及び預金	2,067	2,719	支払手形	14	9
受取手形	1,445	2,089	買掛金	17,724	18,617
売掛金	20,138	19,312	短期借入金	1,000	2,000
たな卸資産	1,903	1,842	未払法人税等	180	682
繰延税金資産	570	609	賞与引当金	1,112	1,114
未収入金	3,736	2,714	役員賞与引当金	28	51
関係会社短期貸付金	1,228	1,964	設備支払手形・未払金	1,600	2,433
その他	132	116	その他	3,107	2,621
固定資産	43,274	45,885	固定負債	23,401	23,786
有形固定資産	24,623	27,409	長期借入金	17,000	17,000
建物	3,717	3,839	退職給付引当金	6,004	6,184
機械及び装置	13,277	13,605	その他	396	602
工具器具及び備品	3,941	4,089	負債合計	48,170	51,317
土地	2,472	2,472	(純資産の部)		
建設仮勘定	658	2,824	株主資本	25,914	25,578
その他	556	577	資本金	7,460	7,460
無形固定資産	741	849	資本剰余金	9,699	9,699
投資その他の資産	17,909	17,625	利益剰余金	8,824	8,482
投資有価証券	898	679	自己株式	△ 68	△ 62
関係会社株式	6,316	6,522	評価・換算差額等	413	357
関係会社出資金	1,324	1,324	その他有価証券評価差額金	413	357
関係会社長期貸付金	6,493	6,182	純資産合計	26,328	25,935
繰延税金資産	4,691	4,806	負債純資産合計	74,498	77,253
その他	510	603			
投資損失引当金	△ 1,976	△ 2,141			
貸倒引当金	△ 348	△ 352			
資産合計	74,498	77,253			

中間損益計算書

(単位：百万円未満切り捨て)

科目	当中間期 (平成19年4月1日から平成19年9月30日まで)	前 中 間 期 (平成18年4月1日から平成18年9月30日まで)
売上高	49,385	47,814
売上原価	44,055	42,395
売上総利益	5,330	5,419
販売費及び一般管理費	4,726	4,679
営業利益	603	740
営業外収益		
受取利息	201	159
受取配当金	34	19
ロイヤリティ	244	217
固定資産売却益	81	34
為替差益	-	84
その他	61	72
営業外費用		
支払利息	195	122
為替差損	130	-
借入手数料	-	61
その他	20	28
経常利益	881	1,117
特別利益		
投資損失引当金戻入益	165	-
貸倒引当金戻入益	29	2
製品補償費戻入益	61	-
前期損益修正益	-	255
特別損失		
固定資産売却損	11	73
固定資産除却損	215	67
技術使用料返還金	41	-
貸倒引当金繰入	25	45
その他	-	25
税引前中間純利益	842	941
法人税、住民税及び事業税	29	299
法人税等調整額	116	5
中間純利益	696	636

中間株主資本等変動計算書(要旨)

(平成19年4月1日から平成19年9月30日まで)

(単位：百万円未満切り捨て)

	株主資本								評価・換算差額等		純資産合計		
	資本金	資本剰余金		利益剰余金			自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計			
		資本準備金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金 圧縮記憶積立金	繰越利益剰余金						利益剰余金合計	
平成19年3月31日残高	7,460	9,699	9,699	1,327	46	5,055	2,052	8,482	△ 62	25,578	357	357	25,935
中間会計期間中の変動額													
別途積立金の積立て						350	△350						-
剰余金の配当							△355	△355		△355			△355
中間純利益							696	696		696			696
自己株式の取得									△ 5	△ 5			△ 5
株主資本以外の項目の中間会計期間中の変動額(純額)											56	56	56
中間会計期間中の変動額合計	-	-	-	-	-	350	△ 8	341	△ 5	335	56	56	392
平成19年9月30日残高	7,460	9,699	9,699	1,327	46	5,405	2,044	8,824	△ 68	25,914	413	413	26,328



株式の状況（平成19年9月30日現在）

①株式の状況

発行済株式総数 89,003,624株（自己株式261,140株含む）
株主数 7,013名

②大株主の状況（上位10名）

①東京急行電鉄株式会社 25,422千株 (28.56%)	⑥シロキ工業持株協会 2,194千株 (2.47%)
②トヨタ自動車株式会社 15,067千株 (16.93%)	⑦日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口) 2,175千株 (2.44%)
③日本ラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口) 3,917千株 (4.40%)	⑧日本生命保険相互会社 1,920千株 (2.16%)
④三菱UFJ信託銀行株式会社 3,559千株 (4.00%)	⑨ザチューズマンハッタンバンクエヌエイ ロンドンエスエルオムニバスアカウント 1,632千株 (1.83%)
⑤株式会社豊栄商会 2,261千株 (2.54%)	⑩シロキ工業従業員持株会 1,438千株 (1.62%)

(注) () 内は持株比率を表示しております。

役員 の 状況（平成19年9月30日現在）

代表取締役社長 伊地知 舜一郎	取締役 河本 正
代表取締役専務 橋 間 義 郎	取締役 坂 部 威 夫
専務取締役 杉 山 森 夫	取締役 上 條 清 文
常務取締役 佐 野 良 夫	取締役 鈴 木 克 久
常務取締役 後 藤 和 行	常勤監査役 大 城 英 行
常務取締役 小 橋 賢 司	常勤監査役 古 川 俊 雄
常務取締役 佐 竹 史 郎	監査役 豊 田 章 男
取締役 大 橋 敦 志	監査役 山 田 匡 通
取締役 大 石 勝 美	

(注) 1. 取締役のうち、上條清文および鈴木克久の両氏は、社外取締役であります。
2. 監査役のうち、古川俊雄、豊田章男および山田匡通の各氏は、社外監査役であります。

配当金の口座振込のおすすめ

株主様ご指定の金融機関（銀行、信用金庫、信用組合、労働金庫、農業協同組合）の預金口座またはゆうちょ銀行口座にて直接配当金をお受け取りいただけます。

この方法をお申し込みいただきますと、それ以後はご指定の口座にて自動的に配当金をお受け取りいただけますので、ご利用されることをおすすめいたします。

ご変更手続き用紙のご請求ならびにご不明な点は下記までご照会下さいますようお願い申し上げます。

お問い合わせ先

〒137-8081
東京都江東区東砂七丁目10番11号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

フリーダイヤル：0120-232-711（土・日・祝祭日を除く 9:00～17:00）

配当金振込指定書等の各種お手続き用紙のご請求
フリーダイヤル：0120-244-479 音声自動応答（24時間受付）

アドレス：<http://www.tr.mufg.jp/daikou/>

T O P I C S

広州白木自動車部品の第2工場稼働開始

広州白木自動車部品有限公司（中国・広州市）の第2工場が本年7月より稼働を開始し、現地日系自動車メーカーの生産増と新規受注に対応しました。同工場は昨年11月より本社・工場の敷地内において建設工事が進められていたもので、延床面積9,200㎡のウインドレギュレータとモールディングを生産する専門工場です。第2工場増設により、中国における生産の拡大と効率化を進め、中国事業の基盤強化をはかります。

